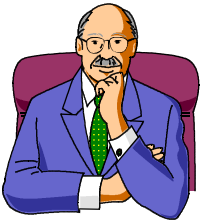


思いやり

第 19 号

発行者

名農高生徒指導部
平成31年 2月 14日 (木)



礼儀作法とは

『礼儀作法』は人間の生活の中で、身に付けておかなければならないことで、とても大切なことです。特に集団生活などの行動面では無くてはならないとても重要なものです。

礼儀とは「エチケット」「マナー」のことで、作法は「ルール」と言ったところでしょうか。授業においても始まりと終わりには、挨拶をしますね。「礼に始まって・礼で終わりです」相手を敬い、或いは感謝され人間関係が良好に構築されていきます。覚えておいてください。相手を敬う気持ちがあれば、相手からも感謝され、お互いの信頼関係がより親密になって行くとともに、自分を一回りも二回りも成長させることができます。

自分自身の周りを考えてみてください。友達同士ではどうですか？お互いを敬い、感謝していますか。信頼関係はどうですか？時々見かけるのですが、都合のいい時だけ友人の振りをして、困ったときに知らん振りをしている姿を見かけるのですが……。少し悲しい気がします。スマートフォンの時代になってきましたが、やはりお互い気持ちよく過ごしていくためには、お互いを思いやる気持ち（礼儀）をきちんと面と向かって「自分の言葉」で伝えることが大切だと思います。『親しき中にも礼儀あり』です。



生徒の本分を!! Part1



2月・3月はこれまでの1年間の締めくくりの期間でもあり、

次へ向けての準備期間となります。1年生は2年生に、2年生は3年生に向けて心準備をしなければなりません。そこで『生徒としての本分』をよ〜く考えてほしいと思います。まず「生徒とは、何をしなければならないのか」です。君たちは基本的に学校へ何をしに来ているのでしょうか？それは「勉強をするために来ているのです」当たり前なことですが、いささかそのことを忘れている人がいるようです。授業中うつろな目でボンヤリしている人、はたまた挨拶の後にすぐ居眠りの体制に入る人、授業に集中できずに騒いでいる人、自分のことを棚に上げて、他の人も・・・と周りにいる人たちに責任転嫁したり、無気力な状態になったりと、注意される原因はどこにあるのでしょうか。自分に非がある時には、素直に認めなければなりません。君たちは『学校に勉強するために来ている』ということ忘れてはいけません。ただ、勉強が苦手な人もいますが、学校は勉強するところです。今、自分に不足しているところを少しでも吸収しようとする気持ちと行動が大切なのです。一生懸命やっている人のジャマはしてはいけません。

やってはいけないことをやってはいけない。当たり前のことを当たり前にとらえ、当たり前に行動する。これが大切なのです。(このアンダーラインの部分は今後も使われることばです。)



◆生徒の本分◆

学校を休まない・勉強する・きまを守る